

ニコニコ箱

楽しいロータリーを通じて地域社会の奉仕活動へ。
 (森陰輝夫ガバナー補佐様)
 本日、18:30より夜を徹して「大嘗祭」が行われるようです。
 (林 正岳)
 村中さん、110周年おめでとうございます。(小谷哲治)
 I Love Rotary! (佐野慎治)
 村中甘泉堂様、創業110周年誠にありがとうございます。
 (清水慶造)
 亡母の葬儀に際しまして、大変お世話になりました。(野村直之)
 毎年クリスマスパーティーに来るうちの孫が日産自動車のCM
 でテレビに出ています。矢沢永吉のぶっちぎれ日産ナレーション
 と共にアップになります。(平野洋一)
 村中会員、創業110周年おめでとうございます。(山野井秀一)
【皆出席御祝】 岩下春幸
 皆出席御祝/村中さん、美味しそうな羽二重餅、後で食べる
 のが楽しみです。(野村直之)
【誕生日御祝】 齊藤信二・佐々木知也・辻恵利子
【配偶者誕生日御祝】 岩下春幸・山本 宝
 配偶者誕生日御祝/いただいたお酒で嫁さんを祝います。
 西田高宏)
【結婚記念日御祝】 岩下春幸・岡田 章・齊藤信二・
 中広 久
 結婚記念日御祝/会場の雰囲気違っていい感じです。
 (畑下徳洋)
 各 君

米山奨学特別寄付金

今日は財団月間です。(林 正岳)
 いつもありがとうございます。(伊藤 彰)
 亡母の葬儀に際し、ご厚情を賜りありがとうございました。
 (野村直之)
 宮崎パストガバナー卓話ありがとうございます。(渡邊義信)
 各 君



ビジター受付

■ 11月26日(火)	福井南	織協ビル正面玄関	12:00-12:30
■ 11月28日(木)	福井水仙	福井パレスホテル	18:00-18:30
■ 11月29日(金)	福井あじさい	ホテルリバービューアケボノ	12:00-12:30
■ 12月4日(水)	福井北	ザ・グランユアーズフクイ1階 カフェテリア	12:00-12:30
■ 12月12日(木)	福井西	福井県護国神社左側 社務所	12:00-12:30
■ 12月16日(月)	福井東	アオッサ 1F 入口付近	12:00-12:30
■ 12月17日(火)	福井南	織協ビル正面玄関	12:00-12:30
■ 12月18日(水)	福井北	ザ・グランユアーズフクイ1階 カフェテリア	12:00-12:30
■ 12月18日(水)	大野	大野商工会議所	12:00-12:30

ロータリー財団増進特別寄付金

浅井正勝・大森正男・林 洋三・藤本潤一・萬谷宏治
 宮崎先生、卓話よろしくお願ひします。(林 正岳)
 先日は元会員であった伊藤仁和君(順化小学校・旧福井中
 学校・慶應義塾が同期生)のご令室(伊藤仁一郎君のご母堂)
 が亡くなって。(宮崎茂和)
 宮崎パストガバナー、卓話ありがとうございます。(油谷啓司)
 宮崎先生、いつもご指導ありがとうございます。(伊井彌州雄)
 世界のために何かいいことをしよう。(出雲路康照)
 ①村中甘泉堂さんの110周年を祝福します。②宮崎パストガ
 バナーの卓話に感謝します。(片岡正明)
 宮崎先生、財団月間での卓話ありがとうございます。R財団につ
 いて学んでいる過程ですが、今日は新たに「メモリアルコントリ
 ビューション」という寄付の手段を学ばせて頂きました。
 (城戸利枝)
 「現代の名工」にいとこの清川が選ばれました。兄弟3人とい
 こで役割を分けながらご支援頂きました方々のお陰です。あり
 がとうございました。(清川卓二)
 今日に福井新聞にホテルリバービューアケボノの朝食がおもてな
 しの事例として紹介されています。(清水嗣能)
 宮崎パストガバナー、卓話ありがとうございました。(清水正一)
 甘泉堂さん、羽二重ありがとうございます。(玉木 洋)
 宮崎先生、卓話楽しみです。亡母の葬儀に際してお心遣いに深
 く感謝します。(野村直之)
 宮崎パストガバナー、卓話ありがとうございました。(平野洋一)
 宮崎先生、ありがとうございました。(細江 究)
 本日は財団の寄付の話をさせていただきます。(宮崎茂和)
 皆様のおかげをもちまして、創業から110周年を迎えます。次週
 感謝祭を企画しています。ロータリアンの皆様もぜひお越しくだ
 さい。(村中洋祐)
 各 君

寄付金の状況

	11月14日分	累計	目標
ニコニコ箱	103,000円	1,295,457円	2,630,000円
米山奨学金	55,000円	1,384,000円	2,400,000円
ロータリー財団	102,000円	1,849,240円	3,166,000円

ありがとうございました。



事務所 〒910-0006 福井県福井市中央1丁目3番1号加藤ビル5階 TEL: 0776-25-0633 FAX: 0776-24-8622
 例会場 ユアーズホテルフクイ4F TEL: 0776-25-3200 例会 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30
 クラブ会報委員会 委員長: 村上 与司和 副委員長: 角谷 恒彦 委員: 北島 悟・西澤 雄三・豊井 浩一・中山 浩成
 ソングリーダー: 野尻 章博 サブリーダー: 木瀬 雅博・角谷 恒彦・山岸 靖夫・増田 喜一郎・松田 将裕
 ホームページ http://www.fukui-rotary.com/ E-mail info@fukui-rotary.com
 創立 1950年(昭和25年)10月15日 RI承認 1950年(昭和25年)12月4日(承認 No.7647)

現在会員数 138名



2019-2020年度 R.I.テーマ:

R.I.会長 マーク・ダニエル・マローニー
 R.I.第2650地区ガバナー 佐竹力總

クラブテーマ: ロータリーを愛そう 地区スローガン: 伝統と革新 世界はひとつ

理 事		監 事		役員補佐			
会長	林 正岳	クラブ奉仕	高木 義秀	監事	菅原 将高	副幹事	田畑 賢一
副会長・会長エレクト	清水 則明	職業奉仕	藤本 潤一	監事	佐々木 知也	副会計	中広 久
直前会長	渡邊 義信	社会奉仕	谷崎 由美子			副会計	渡辺 崇嗣
幹事	清川 卓二	国際奉仕	橋本 泰久			副会場監督	野尻 章博
会計	清水 正一	青少年奉仕	浅井 正勝			副会場監督	萬谷 宏治
会場監督	石丸 敦士	ロータリー財団	細江 究				

11月は「ロータリー財団月間」です。—私たちの奉仕の成果である財団。それは「世界でよいこと」をするための巨大な力となる仕組みです。—

本日の例会 2019年11月21日 第3397回

今後の予定

12時30分 開会点鐘
 会長挨拶
 委員会報告・幹事報告・その他
 ゲスト卓話
 (福井県共同募金会事務局 主任 鷹尾 大英様
 グリーフケア福井 代表 山崎 純子様)
 演 題「がん患者の支援と大切な人を失った方の
 サポート事業について
 ~赤い羽根の社会貢献推進運動~」
 13時30分 閉会点鐘

- 11月28日(木) 啓新高校インターアクトクラブ 活動報告
- 12月5日(木) 栄誉行事/クラブフォーラム
- 12月11日(水) キャリア教育講座 in 啓新高校
- 12月12日(木) 年次総会/地区委員報告
- 12月19日(木) クリスマス家族会(夜間例会)
- 12月26日(木) 休 会

会長挨拶



2019-20年度 会長 林 正岳

本日のゲストは、あじさい RC の森陰輝夫ガバナー補佐です。
 今月は「ロータリー財団月間」ということで、宮崎パストガバナーによる卓話があります。

11/10(日)、「祝賀御列(おんれつ)の儀」と同じ日に、「第9回 福井県スポーツ医学研究大会」が開催されました。この会のメインテーマは、福井県の国体候補選手1,300人に対する医学サポートについてです。

まず、アンケートから問題のある選手に対しアスリートカルテを作成します。PT(理学療法士)とAT(アスレティックトレーナー)の両方の資格を持つ APT を、各競技団体に専属化してあり、強化指定選手の中で問題のある選手に対し、疾患評価、APT 標準評価(関節弛緩性、関節・筋可動性、身体特性)を測定し、カルテを追加・訂正します。

そして、①S-Dr(スポーツドクター)を受診させる ② APT がアスレチック・リハビリを行う ③1ヶ月以上改善ない場合にはS-Dr受診 ④放置・自然経過観察、の四つにトライアージを行います。

選手のアンケートから、作成したカルテは、正確性がほとんどありません。APTが選手に直接に接して、カルテを追加・訂正することにより、はじめて正確なカルテが完成されます。しかし、この段階の診断は診断疑いです。S-Dr受診後の確定診断とは、かなりのずれが生じます。この段階で選手を抱え込んでしまっ、長く改善せず、S-Dr受診を余儀なくされる事も多々あります。正しい診断を付けないでの、症状に対する対応には、問題があることが分かりました。

それ以上に、施術では、医師との連携がなく、より危険と言う事に成ります。真剣に青春を賭けてスポーツに打ち込んでいる、若者を襲った傷害を、早く効率的に正確に改善して、競技に復帰させてあげたいものです。

今夜、旧暦11月第2卯の日、2019.11.14.に五穀豊穡・国民安寧を願って、秘儀、「大嘗祭(だいじょうさい)」が夜を徹して行われます。今回の供物新米は「栃木の星」と「京都キヌヒカリ」だそうです。

今年の、茨城国体では天皇杯10位となり、国体翌年の成績としては、快挙と言えます。来年は鹿児島国体です、桜島の火山灰、指宿(いぶすき)温泉の砂風呂、黒豚、西郷どん、等が楽しみです。

次回の例会 2019年11月28日(木) ■会場: ザ・グランユアーズフクイ ■開会点鐘: 12時30分
 ■啓新高校インターアクトクラブ活動報告 ■閉会点鐘: 13時30分

出席報告

- 現在会員 138名
- 出席者 65名
- 欠席者 57名
- 出席免除者欠席 16名
- 今回例会出席率 53.3%

例会修正出席率

- 10月24日
- メークアップ 46名
 - 欠席者 26名
 - 修正出席率 80.2%

- メークアップ 木村憲一(11/24 地区 RLI委員会)、伊井彌州雄(11/16-17)地区 インターアクト地区大会 各 君

例会報告

ガバナー補佐 挨拶



森蔭 輝夫 ガバナー補佐

公式訪問以来の参加ではございますが、私としては3カ月ごとに皆様とお会いできるのが楽しみです。

来月は年次総会ということで新理事の方を選出される時期だと思っておりますが、本年度も半分を過ぎようとしており、

幹事報告

幹事 清川 卓二



① 本日のお食事は財団ランチということで「カレーライス」となっております。財団ランチとは通常のお食事から少し代金を浮かせてその分を財団へ寄付をしております。同じように米山ランチというもがございます。共に年2回ずつ設定しております。



本日はガバナー賞を意識して頂きたくお話しさせていただきます。

今月のガバナー月信に申請の手続きは記載されておりますが、達成が可能だと思いますので、ぜひとも申請し受賞していただきたいと思っております。それと2016年度から新世代育成補助金というものがありまして次年度が最終となりますので、そちらもあわせてお願いしたいと思っております。ただ申請期限が7月末日となっておりますので、よろしくお願ひいたします。本日は、どうもありがとうございました。

② 本日はホテルの都合で例会場は「瑞雲の間」となっておりますが、となりの「天山の間」を主会場として、今後も双方の会場で例会を開催していく予定です。

③ 村中甘泉堂(村中会員)さんから創業110周年感謝祭ということで、記念のお菓子などが配られておりますのでお楽しみいただければと思います。

ロータリー財団委員会 卓話



宮崎茂和パストガバナー

ロータリー財団への寄付
ロータリーは「世界でよいことをしよう」

④ 年次基金

まず、年次寄付であります。これはクラブ内で平素から行われている普遍的な寄付であり、財団では「EREY」で1人当たり100ドル以上になっています。地区では今年度は1人180ドル、福井クラブもこれに準じていますが…(委員長さん、そうですね?) どうでしょうか?今年度まだ財団寄付を行っていない会員は、少額でも結構です。これに近づかのためにぜひ本日はご寄付をお願いしたいと思います。

年額にすると19,440円になりますが、福井RCでは前・後期の会費の中にすでに一部が含まれているので(6,480円×2回)、その不足分6,480円を例会などで寄付をすることになります。この寄付は利子も加えて3年後の年次プログラムに全額使用されます。従って、私達には非常に利用しやすい寄付とも言えます。先日は当クラブに渡邊年度に対して見事目標を達成したことで、財団からバナーを戴きました。クラブとしては非常に名誉なことです。ぜひ今年度もお願いしたいと思います。

⑤ 寄付の認証

今月の「友」11頁に出ている写真「ポールハリスフェロー、マルチプルポールハリスフェローは例年に会長さんから寄付者に渡される認証品」です。クラブや地区、そして意義深いミーティングには襟章として着用することになっております。サファイア→ルビー→ダイヤモンドに、寄付高によって変わっていきます。

⑥ 恒久基金

恒久基金寄付です。皆さんには馴染みの薄い、というより、このクラブでは普遍化されていない寄付です。これは、財

① 皆さん、今日は。11月はロータリー財団月間ですので、少しでも皆さんに財団を理解して頂き寄付を増進し、これを利用して「教育的・人道的なプログラム」を選択、ロータリアンとして、またロータリークラブとして「世界でよいことをしよう」というキャッチフレーズで活動を展開し、世界の人々の暮らしを少しでも豊かにし、最終的には世界の平和を実現したいというのが私達の使命であります。

このスライドの写真は、皆さんのところへクラブから送られてきた「ロータリーの友」11月号の写真です。もうご覧になりましたか?

② ロータリーについて

このような奉仕活動のプログラムについては時々皆さんに示してきましたが、いつも時間がなくなりその活動資金になる寄付について十分にお話が出来なかつたので、本日はその寄付を簡単に説明したいと思います。同じことをRIも考えていたようで、「友」の11月号の写真を出来るだけスライドにしようと思っております。

③ 寄付の種類

この表の寄付は全くオリジナルな寄付の型でこの4つに大別されます。それでは夫々について簡単に概略を説明させていただきます。



団の補助金とプログラムの未来を確かなものとするための基金寄付です。1度に1,000ドル(108,000円)以上を寄付するもので、基金は補助金などでは使用せずに積み立てられ、利息のみが年次寄付と共に年次プログラムの資金として使われます。即ち補助金の一部になるわけです。認証はベネファクターになり、小さい青い色の襟章が与えられます。



⑦ ポリオプラス基金寄付

この寄付は最初、RIが3Hプログラム(Health・Hunger・Humanity)として行ない、TRFへ移行されたポリオ撲滅にのみ使用される特別な寄付であります。先ず、何故ポリオでなく、プラスが付いているのか?について話さないと理解できないと思っております。写真は協力団体となったビルゲイツさんです。



⑧ ポリオプラスとは

皆さんにこれを理解して頂くために、スライドに赤線を引きました。しかし広範囲にわたること、焦点がはっきりしないことで名前は残っていますが、実際はポリオだけになっています。この地区は寄付の他に、第24代パストガバナーの二橋さんから、38代富田さんまで、地区でチームを編成。実際にワクチン投与に現地までミッションを組み、汗をかき活躍しました。私の年度にはベトナムでした。一時「ポリオの2650」と言われていた時代もありましたが、今は1年に2~3回、クラブ単位で現地まで行き活動しているようであります。ポリオプラス補助金もこの寄付と地区DDFでの配分でのポリオプラスパートナーズ補助金から配分されています。

⑨ ポリオの実状

2016年以降のポリオ発症の実状です。世界中が平和ではありません。政府と反政府、イスラミックステート(IS)などの台頭、テロの発生、宗教の違い等でロータリアンをはじめ身を切るような活動をしている人がいるのですが、ワクチン投与は世界では100%で行われていません。現在、ポリオの常在国は2か国のみですが、まだ表のような発生をみえています。この活動はまだ続きますし、RIの世界に約束した最優先の大きなプログラムです。せめて今私達が出来ることは資金への協力ですので、ぜひ皆さんのご協力を仰ぎたいと思っております。

⑩ その他の寄付

その他の寄付ですが、指定したプログラムに人道的・教育的に対する寄付、例えば、ロータリーセンター(平和フェローシップ⇒平和奨学生)への基金寄付及び使途指定寄付(25万ドル以上)、遺贈友の会などがあります。ロータリー財団への寄付は例会では米山奨学生のように皆さんの目に見えません。実際に結果を見るチャンスは少ないのです。

しかし、以上述べてきたように、微小な寄付でも大きなプロジェクトへの資金として全世界に行き届いているのです。例会毎の財団への寄付、又は大口寄付等、ロータリアンとしては少しでも協力していかなければならない、と思っております。以上、寄付の話をしました。

⑪ 公益財団法人ロータリー日本財団

私達が行った寄付の流れは、今迄の日本の実績でRIが特別に認めてくれた、そして国でも表記のように認可になった「ロータリー日本財団」が創立されています。内容は、大きく3つの仕事をしています。

⑫ 役員一覧

役員の一覧表です。中心が千パストガバナーなので、2650地区が中心的存在で、私を含む赤丸の4名が関わっています。福井RC、頑張っていますので、皆さんもバックアップして欲しいと思っております。

⑬ 寄付の分類の状況

では日本財団の資料によると、2018~19年度では表のようになっています。この表を見ると、矢張り個人からの年次寄付が圧倒的に多く、次いでクラブ・地区の順位になっています。ロータリーの構成はあくまで個人なので、1 Serveです。日本では平均すると1人が13,700円寄付していることとなります。そして3年間の投資の後、全額がロータリーが行う教育的・人道的プログラムへと投資されています。所謂補助金になるわけです。このシェアシステムについては、次の機会にでも話すつもりです。次いで多いのが、恒久基金とポリオプラスが約2億円になっていて、福井RCとしてはこの2つの部門が弱いので、財団委員会の強力なリーダーシップで少し頑張りたいと思っております。

⑭ 個人寄付

個人的な寄付ですがこの表では1人が1年に1万円以上、3万円までで、福井RCも会費と例会などの寄付でこのグループに入ります。また、ポールハリスソサエティや大口寄付の会員も相当に多いのですが、大口寄付ではうちのクラブでは亡くなった増田さんと私の2名だけだったので、寄付総額8,000ドル~9,000ドルの方をピックアップして、ぜひ大口寄付者を増やして下さい。財団委員会をお願いします。

しかしアメリカに次いで2位を保持していた日本も、現在はインド・韓国に次いで4位に落ち込んでしまいました。

⑮ 本日はロータリー財団の寄付のみについて概略を簡単に話してまいりました。どうして私達は財団へ寄付するのでしょうか。「世界のために良いことをしよう」というキャッチフレーズは、「お金だけではない価値」があり、ロータリーの考え方が、教育的・人道的プログラムの中に生きた価値を提供しているからであります。

会長・幹事・理事さんを初め、当クラブが行った地区補助金を利用したネパールのミトラ小学校への学校支援などのように、財団のプログラムの中から選んで、進んで活発に活動もして欲しいと思っております。クラブの財団委員会も、寄付や奉仕に対するリーダーシップを最近殆ど感じられないので、ぜひ頑張ってください。

次は寄付はどのように配分されて使われるのか、即ちシェアシステムについてチャンスがあったら話をしたいと思っておりますので期待して下さい。



同好会 (季楽会)

10月19日(火) 吟楽にて 季楽会を確認しました。今回の吟楽は一度お邪魔している和食懐石のお店で、参加者10名で秋の味覚をいただきました。

話のトピックは、ロータリーの野球大会、健康と運動等々でした。

